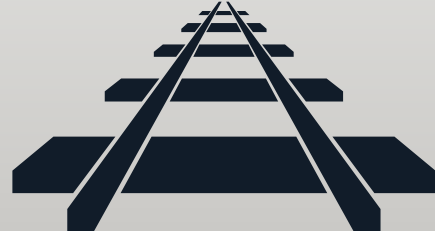


屋根にはもう乗らない?!

Vol.5

インドの鉄道の今!



インドの鉄道というと、電車から身を乗り出したり、屋根にまで人が乗っていたりするイメージがありませんか? そんなイメージは過去のもの! インドの鉄道は大きく発展しているのです。



インドは鉄道大国

実は、**アジアで初めて鉄道が敷かれたのはインド**です! 1853年に、約40kmのムンバイ・ターナー間で開通しました。日本で鉄道が開業したのが1872年なので、日本よりも19年も早く鉄道が誕生していたことになります。

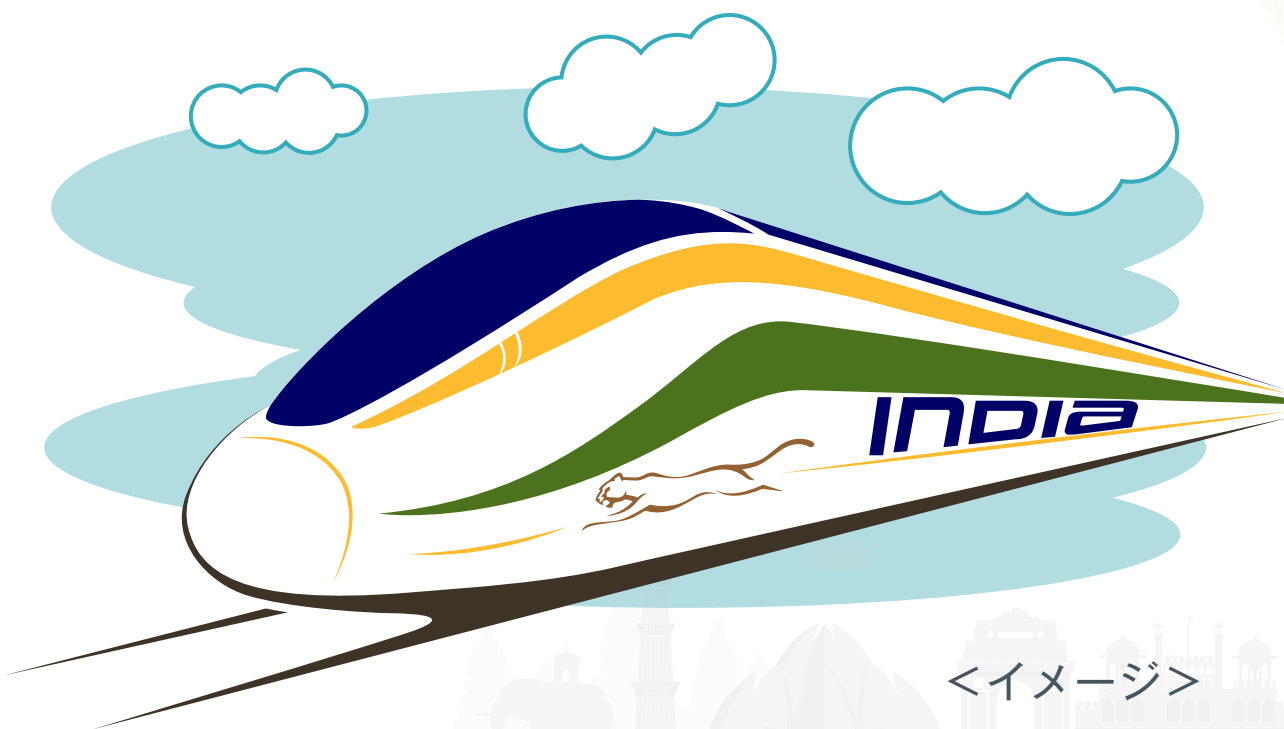
現在インドではインフラ整備が重点政策となっていて鉄道建設が進んでおり、**鉄道路線総延長距離は6万kmを超え、世界第4位(2021年)!**年間旅客輸送量については、コロナ禍以前の2020年では世界第1位の約1.1兆人キロ! まさに鉄道大国といえるでしょう。都市鉄道の整備も進み、右の写真の様な近代的なメトロも運行しています。もちろん屋根には乗っていません!



出所: 世界銀行

<2023年開通のムンバイメトロ>

日本の新幹線がインドの人々の生活の足となる?!



<イメージ>

今まさに、**インド高速鉄道プロジェクト**が進んでいることはご存知でしょうか? このプロジェクトでは**日本の新幹線のシステムが導入**され、日本で「はやぶさ」の愛称で親しまれているE5系が、ムンバイからインド西部のアーメダバードまでの約500kmを約2時間で走行する予定です。

新幹線が駅と駅をつなぐだけでなく、日本とインド両国の絆をさらにつないでくれることを期待しましょう!

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。 ※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。 ※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。 ※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。 ※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。 ※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第379号/加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。

230724(01)